

みつくら

令和 8年 2月15日 第452号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

八区花壇の除石

八区花壇は、プール解体に伴い令和5年度は植栽を見送り、昨年度から花苗を植えはじめた。どうした理由か、土中に多くの石が混入していて、花植前の耕起作業に艱難(かんなん)していた。そこで葛丸の農村環境を守る会では、12月5日にスケルトンバケツ(網状のバケツ)を取り付けた重機で花壇の土を振るいにかけて除石した。あいにく連日の雨で湿った土のため難儀したがどうか作業ができた。

草刈りの日当を支払い

葛丸の農村環境を守る会(板垣幸夫会長、構成員249世帯387名)では、令和7年度の畦畔一斉草刈りと大排一斉草刈りの日当支払いを12月7日に大瀬川振興センターで行った。

この日当は、対象の水田351haの水田や大排水路の草刈りに対して支払われ、いずれの草刈りも6月1日から7月31日までに出役した延べ1、308人に合わせて1、061万円を支払った。特に大排水路の草刈りは、近年、構成員の高齢化で計画の75パーセントにとどまり、今後の課題となっている。

元旦祭を開催

1月1日の午前5時から天満宮で、午前6時から山祇神社にて責任役員・総代23名が出席して元旦祭が行われた。古稻荷神社から直町宮司代行の小笠原宮司により執り行われ、「昨年は、業務運営に御尽力頂きありがとうございます。今年も御協力をお願いしながら、今年だけにうまくいきますよう申し上げます」と挨拶があった。直会は執り行われず用意されたお酒・おつまみを配布して終了した。

7区公民館「新年会」で賑わう!

1月4日、第7区自治公民館(菅原清孝館長)にて「新年会」が昨年と同じ25名の参加で開催された。最初に集合写真を撮影し菅原三郎さんの音頭により御祝い

を唱和した。続いて、菅原照子副館長(農家組合長)の開会、菅原清孝館長の年頭挨拶のあとに、菅原敏幸副館長(区長)の乾杯で始まり、お互いの近況報告や今年の抱負などを語りあった。

会の開催にあたり、前日に菅原館長さんが除雪を、玄関には「ミニ門松製作事業」で製作した門松を菅原久幸さんに飾って頂いた。例年行われているお楽しみ抽選会では、菅原教雄さんが1等賞の福袋を獲得したりと短い時間だったが相互の親睦を深め楽しい時間を過ごした。

御祝いが響いた八区新年交賀会

第八区自治公民館(熊谷秀夫館長)は1月4日に25名が参加して大瀬川振興センターで新年交賀会を開催した。副館長の千田安彦さんの開会に続き、熊谷館長が「新年明けましておめでとうございます。私事ではありますが今年は年男でそれも八方塞の令和8年です。しかし、そんな事は気にせず今年を駆け抜けたいと思っております。皆様も健康にご留意され有意義な一年にしましょう」と挨拶した。続いて、来賓の農家組合長の板垣正博さんから「皆さんのご協力で組合長を務めさせていただいております。昨年は農家にとって、出穂時期の水不足や収穫時期の長雨など近年にない年でしたが、作柄は平年並みでほつとしております」と挨拶した。

板垣幸夫さんの音頭で乾杯後、懇親会に移り、熊谷恭一さんの先導で参加者全員が久しぶりに御祝いを唱和して館内に響き渡った。時を忘れあちらこちらで話が弾み、解散時には辺りが暗くなっていた。

九区新年交賀会を開催

第九区自治公民館(菅原邦典館長)では、1月11日に35名が参加して新年交賀会が行われた。新たに畠山港人君(惣助ド)が加わって、大瀬川神楽保存会の権現舞いが最初に披露され、最後は権現様が各テーブルを廻り参加者の無病息災を祈った。

続いて、菅原館長から「まずは報告ですが、花巻市より資源回収量の伸び率の町内会部門で表彰を受け副賞として商品券を頂いております。また、来年度自治会として予定していることがあり、1つ目は、公民館ホールに冷房の設置、2つ目は残りの恒久電気柵の延長に協力したい案を総会に取り上げたいのご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶があった。その後、熊谷幸夫第一老人クラブ会長の乾杯で祝宴が始まり、テーブルには、折詰やオードブルそしてひつまじりが各テーブル並び話に花が咲いていた。近年は、お酒やジュースのほかにノンアルコールも出されたがあつという間に無くなっていた。

最後に、熊谷俊彦山王海土地改良区総代の中締めで新年の門出を祝しお開きとなった。

表彰(敬称略)

第51回岩手県更生保護研究紫波地区大会(令和7年10月29日)

東北地方更生保護委員会委員長表彰
 保護司 高橋 義晃(9区 上野カマド)
 東北地方更生保護女性連盟会長表彰
 更生保護女性会員 板垣 福子(8区 北畑)
 盛岡保護観察所長感謝状
 更生保護女性会員 菅原 和子(7区 大工戸)
 令和7年度花巻市消防団花巻支部長表彰
 優良竿頭綬(無火災表彰)
 分団の部 第13分団(令和5年8月12日~の2年間)
 部の部 第13分団第2部(令和2年4月13日~5年間)
 勤続賞(勤続15年以上)
 藤原 誠・畠山 拓(13分団1部)
 功労賞(班長で15年以上)
 菅原善孝(13分団2部)
 精練賞(団員5年以上)
 畠山勝則(13分団2部)
 花巻市資源回収量の伸び率町内会部門
 第九区自治公民館

冬の名物「たろし滝へようこそ」幟旗を設置

大瀬川たろし滝測定保存会(熊谷幸夫会長)では1月18日に第1回役員会で今年の日程を決めたあと、役員18名が6カ所に手分けして、冬の名物となっている「たろし滝へようこそ」の幟旗約70本を設置した。今年は大雪で、設置場所の雪掻き作業が必要な場所も多く設置に時間がかかった。

防災訓練が行われる

石鳥谷第九区自主防災会(山形圭子会長)では、1月17日に第一老人クラブとの共催で22名が参加して防災訓練を実施した。

今回は、災害例として「第九区自治公民館内で老人クラブがポッチャの練習中に花巻市内で震度6強の地震が発生し、地区内の住宅が半壊」と想定し、全員を避難誘導し屋外に避難の訓練を行った。その後屋内に戻り、花巻北消防署から講師に小川氏と畠山氏を迎えて、AEDの操作訓練を実施した。講師の方からは「大きな災害が起きれば、行政の応援には時間がかかるので、自助・共助・公助を行って地域で助け合って頂きたい」とお話しがあった。

最後は、参加者に「自宅で試食して下さい」とお湯を注いで食べられる非常食が配布され持ち帰った。

人事(敬称略)

大瀬川たろし滝測定保存会
 会長 熊谷幸夫(再)
 副会長 菅原清昇(再) 同菅原洋二(再)

みつくら

令和 8年 2月15日 第452号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

いきいき講座を開催

1月21日にたんぼの会(菅原文子会長)が主催する「いきいき講座」が九区自治公民館で行われ10名が参加した。今回は花巻市長寿福祉課から作業療法士の高橋さんと看護師の小原さんを講師に招いて「懐かしの歌謡曲に合わせて、有酸素運動」をメインに行った。まず、体を動かす前にちょっとした頭の体操を行ってから、誰でも口ずさめる歌謡曲を流して歌いながら、椅子に座っての体操だった。曲が早くなってくると、参加者も段々に立ち上がっての体操となり、最後にはちょっと汗が出るほどの運動量となった。終わってから小原さんが「冬はどうしても体を動かすことが少なくなりますので、少しの時間でいいので、体や腕そして足を伸ばして下さい」とアドバイスした。

この体操を始めて10年となるので、最後に記念写真を撮って解散となった。

石鳥谷書道会書作展に二人が出展

1月7日から2月1日まで石鳥谷書道会の書作展は、石鳥谷図書館で開催された。会員15名、23点の書作が展示された中に、大瀬川から熊谷青翠(熊谷美奈子)さんと熊谷静香さんの作品があった。熊谷青翠さんは「希望」の文字をカレンダーに、他には「かな文字」で「珊瑚集・そぞろあるき」の2点であった。漢文が多く出展されたなかで「かな文字」なので、素人でも読むことができた。また、熊谷静香さんは「尽己」と「陳天麟誌」の2点で、脇に解説が書かれていた。

東和町で板垣さんの講演会

「宮沢賢治・東和の会」主催の「小原節子さんを偲ぶ会」が1月21日に東和図書館で25名が参加して行われ、一連の行事の後に、板垣寛さんの「人生の思い出ばなし」と題した講演会が45分間に渡って話され、笑いの中での楽しいひと時であった。講話の内容は「うそのようなほんとうのはなし」や「戦時下のうさぎたち」「私の小学生時代は戦争の時代であった」など、板垣さんが自分の人生を振り返った講話

であった。固い話の講演とは違って、このような思い出話は誰にでもあると思われるので、大瀬川でも他の方からもお聞きしたいと思った。

「宮沢賢治・東和の会」会長の小原節子さんは、去年の11月13日に逝去され、今回在りし日の小原さんを偲んでの集いであった。黙祷を捧げた後は、小原さんの思い出話を参加者全員が順番に披露し、今までのご活躍に思いを新たにされた。

たろし滝測定保存会総会に3名の来賓

令和8年度の大瀬川たろし滝測定保存会(会員140名)総会は、1月31日に21名が出席して行われた。熊谷幸夫会長は「寒い毎日が続いていますが、来賓をはじめ皆様には忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。たろしは今日現在、やっと地に付いたばかりですが、今後も冷え込む日が続くとの予報から、立派なたろしが期待されます」と挨拶した。

来賓の上田花巻市長(代理・八重樫祐加地域振興課長)から「半世紀を超えて、たろし滝の保全活動をしておられます皆様には敬意を表します」と。高田貞一花巻市観光協会会長からは「昨年5月に就任したばかりですので、今回の総会には初めてお伺いしました。たろし滝は、花巻市の観光のみではなく全国的にも有名です。また、今年は宮沢賢治生誕130周年の節目でもありますので、観光協会としてもこのたろし滝と共に尽力したいと思っております」と。また、熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長は「活動しておられます皆様に、敬意を表します。大瀬川活性化会議では2月22日に『大瀬川地域ビジョン策定プロジェクト』の一環として『みんなで大瀬川を考えよう。みんなでつくる、これからの大瀬川』の行事を行います。その日には、皆さん誘いあって出席ねがいます」とそれぞれ祝辞があった。

この総会の議長には菅原黎治さん、議事録署名人に菅原茂さんと板垣生栄さんを選出して議事に入った。事業報告、決算や事業計画・予算を可決したあとに役員改選が提案され、会長、副会長とも留任が可決された。

最後にその他として、たろし滝手前にある「一の滝」も景勝地となっているが、夏になれば木々に覆われて道路から滝を観ることができないので、市や観光協会などに伐採の要望をお願いしたいとの意見が出た。

総会終了後には懇親会が行われ、今年は久しぶりに太いたろしが期待できるなど明るい話題で弾んでいた。

水路管の補修が行われている

昨年秋口頃から、山王海土地改良区で7区の市道林(2)線の横でボーリング調査を行っている(積雪時期は休止)。ここは、葛丸頭首工から志和の円筒分水までの導水管が配置されており、空気弁のある場所となっている。その導管から一部漏水が疑われる箇所があるのではないかと、現在行われている国営土地改良事業山王海葛丸地区の一環で調査している。

この導水管の直径は1,350cmあり、空気弁から入っても調査が行われ、国営事業完了の令和15年までに調査と漏水が確認された際には工事が行われる予定。

国営土地改良事業ではダムの施設更新のほかにも、各ダムに小水力発電の設置や新たに7カ所の調整池を造成し、親子ダムの特性を活かした洪水調節機能強化と安定した用水供給を目指している。

訃報

〇八区1班の大平ヒサさんは、令和7年12月28日に85歳で亡くなりました。大平さんは紫波町升沢の出身で、几帳面な方でなんでもきちんとして整理している方でした。大平さんが、結婚後間もなく勤務されたのは、大瀬川小学校に給食室ができた時の最初の職員でした。その後石鳥谷町内の給食施設が合併したのを機会に岩手北辰、岩手アツデン、その後は時計部品を製造する横山製作所(石鳥谷町大興寺)にも長年勤務されました。手先が器用な方でしたので、緻密な作業などでは職場でも評判でした。大瀬川婦人協議会婦人部八区長など地区でも活躍なされ、お世話になりました大平さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

〇久助家の辻村静男さんは、1月28日に80歳で亡くなりました。辻村さんは、青年時代に八州酒造(長野市)に8年間勤めた後に、石鳥谷町農協に約20年間勤務されました。農協に入った頃の辻村さんは、春から秋まではトラックで農業資材の重い肥料や資材などの運搬を担当し、秋から冬にかけては米倉庫に勤務しており、丁度米俵から麻袋に変わった頃で、1俵60kgの取り扱いには大変苦労したと思われる。その後、石鳥谷町農協が花巻農協に合併した時に農協を退職し、石鳥谷タクシーにも長く勤務しました。第八区自治公民館副館長など多くの役職を担うなど、私たちがお世話になりました辻村さんに謹んでご冥福を申し上げます。

季節の話題

12月中旬の雪が降る前に市道大瀬川線を走っている時のことである。板垣由三さん宅の庭を見ると緑の葉の中に真っ赤な花が咲いているのが目に入った。まさかこの時期にツバキ(椿)? 気になったので便利なスマホの「グーグル」で写真を撮り調べたらサザンカ(山茶花)と出た。私の認識では、この花は関東東方でよく生け垣にして今頃に咲いているのを見たことはあったが、寒いこの地域では咲かないと思っていた。

早速、ご家族にお聞きしたところ、「20年前に植えて毎年咲いているが、今頃に咲くので雪が降ると花が凍って落ちてしまうため、その年によって(期間が)短い時もある」と話していた。畠山造園さんに聞いた話では、「種類も多く寒冷地に強いものもあるが、やはり生育は遅く大瀬川地区で植えている家は数少ない」とのことだった。